

地域連携のためのシーズ

氏名（ふりがな）	中川 亮平（なかがわ りょうへい）		
所 属	グローバルマネジメント学部	職名	教授
① ゼミ活動・専門研究の内容			
<p><ゼミ活動></p> <p>学生による研究発表と文献講読を二本柱とし、アドホックに他大学との合同ゼミや学外活動などを行っています。企業行動の外部性、社会と労働、経済史など幅広く扱っています。また2年生の多くは自治体の国際広報活動や中山間地域の課題についての対話と提案なども行っています。</p> <p><専門研究の内容></p> <p>日本経済低迷の根源的な問題として、従業員による経営への関与と権利主張が機能していないのではないかという私なりの仮説を解明したく、幾つかの研究プロジェクトを進めています。近年では従業員の発言行動と労使関係について、また従業員の発言行動と企業内身分差の変遷に関心を持っています。</p>			
② 自治体や事業者等との連携実績			
<p><教育面></p> <ul style="list-style-type: none">・ 大町市：インバウンド促進事業（2023年度）・ 長野市大岡地区・千曲市森地区：中山間地域の課題についての対話と提案（2022年度）・ トランスコスモス株式会社：地域の子供たちに向けた英語によるイベント開催（2018年度）・ Kyoto Journal：同誌の復刊に向けた提案業務（2013～2014年度） <p><研究面></p> <ul style="list-style-type: none">・ 大手化学品・化合織品製造業者の人事・労働組合との対話（2021年度～現在）			
③ 今後やってみたい自治体や事業者等との連携内容			
<p>学生による地域に住む外国人コミュニティとの対話の機会を模索しています。特に子供の教育や就労に関する問題に関心があり、多くのゼミ生も共通の問題意識を持っています。</p> <p>これまで門前プラザなどでも相談したのですが、技能実習制度に関わるセンシティブな問題もあり、なかなか入り込めていません。</p>			